

とまこまい 市議会だより

第29号

2020年5月1日発行

TOMAKOMAI CITY
COUNCIL NEWS

編集・発行・お問合せ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

- 共通記事 第6回定例会、定例会概要 2p～
- 委員会記事 特別委員会報告、議会を振り返って 4p～
- 会派のページ 各会派議員活動報告 6p～
- ピックアップ 第5回議場コンサート、議会日程のお知らせ 12p

第6回定例会を開催しました。〈令和2年2月20日(水)～3月6日(金)〉

令和2年度一般・企業会計予算審査特別委員会を開催しました。〈令和2年2月28日(金)、3月3日(火)～5日(水)〉



子育て

▶1,582万4千円

多子世帯給食費助成事業

多子世帯の経済的負担軽減および人口減少対策の一環として、市内小中学校に在籍する児童生徒が3人以上いる世帯に対し、第3子以降の児童生徒の学校給食費を令和2年10月分より無償化とします。



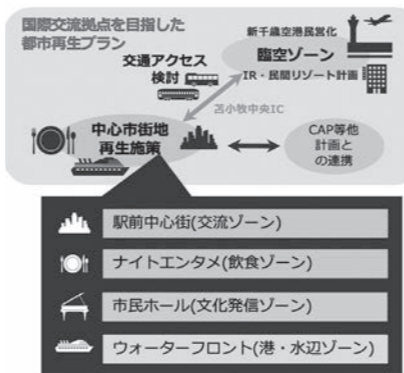
学校

苦小牧東小学校及び苦小牧東中学校
改築事業 ▶26億441万4千円



国際

苦小牧国際リゾート
構想推進事業



▶1,500万円

防災

防災行政無線整備
事業



▶14億9,930万2千円

教育

外国語教育推進
事業(ALT拡大)



▶5,367万6千円

学校

新第2学校給食共同
調理場整備事業



▶12億6,113万円

建設

住宅建設事業・
除却事業など



▶19億8,539万2千円

補助

町内会合同事業
促進補助金



▶70万円

第6回定例会(令和2年2月20日~3月6日)

会期短縮し令和2年度予算を可決

第6回定例会は2月20日から3月13日まで23日間の会期予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため3月6日までの16日間と会期を変更し、報告書3件、陳情2件、議案35件、意見書案1件、決議案1件などの審議がおこなわれました。

初日におこなわれた市長の市政方針および教育長の教育行政執行方針に対し、6会派6名の議員による代表質問がおこなわれ、教育、防災、福祉、介護、医療など多岐にわたり議論が展開されました。

初日の休憩時間を利用し、とまこまい観光大使の門田しほりさんを議長にお招きし、「第5回議場コンサート」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会期短縮、代表質問および予算委員会での質疑時間の短縮、議場関係者全員がマスク着用、傍聴を自粛いた



会期を変更しながらも多岐にわたり議論が展開された定例会

だくなど、異例の措置を施す定例会となりました。

なお、会期短縮のため各常任委員会・特別委員会へ付託された所管事項や陳情につきましては、6月におこなわれる第7回定例会まで継続審査されることとなりました。

賛否の分かれた議案

2つの議案について賛否が分かれました。各会派の見解は下記の通りです。なお、ほかの議案については、全会一致で可決となりました。

		新緑	公明党議員団	民主クラブ	改革フォーラム	日本共産党市議団	会派市民	無所属
議案第10号	令和2年度苦小牧市一般会計予算について	○	○	○	○	×	—	○
議案第13号	令和2年度苦小牧市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	×	○	○
各会派所属議員 (金澤俊議長は採決には加わりません)		矢嶋 翼 板谷 久 竹田 秀 木村 司 金澤 俊 宇多 春 喜多 新 山谷 芳	神山西太郎 大西 厚子 大野 正和 藤田 広美 池田 謙次	松尾 省勝 岩田 薫 佐々木修司 橋本 哲子 小山 征三	松井 雅宏 越川 慶一 首藤 孝治 牧田 俊之	小野寺幸恵 原 啓司 富岡 隆	桜井 忠 谷川 芳一	触沢 高秀

○：賛成、×：反対、△：会派で賛否が分かれた場合、—：採決に加わらなかった場合

「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ」をおこないました。

令和2年4月23日(木)

苦小牧市議会では、新型コロナウイルス感染症への対応が早急に講じられるよう令和2年4月23日(木)に市長に対し「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ」をおこないました。申し入れ項目については下記の通りです。

- ①中小企業・小規模事業者への経営支援について
- ②幼児、児童、生徒に対する支援について
- ③市民周知の徹底について
- ④関係機関への要望活動について
- ⑤上記項目に必要な予算措置を早急に講じること

特別委員会

一般会計予算審査特別委員会

委員長 神山 哲太郎

市職員の新型コロナウイルス感染症対応に伴い、委員会は3月3日から、3日間の日程で慎重に審査がおこなわれました。新年度予算という重要な委員会ですが、非常事態の中での委員会開催となり、各委員の協力のもと質疑時間を段階的に短縮しおこなわれました。各委員は、特に重要と考えられる質疑を簡潔かつ明確に趣旨を伝えようとする努力が見られ、市側もわかりやすく丁寧な答弁が印象的でした。

予算審議の結果、修正動議が出された議案第10号は賛成多数で、その他関連議案については全会一致で原案が可決されました。

今回のような緊急時では、委員会を進行する難しさや、要点を絞った質疑内容も問われると感じた委員会でした。



企業会計予算審査特別委員会

副委員長 谷川 芳一

特別3会計・企業4会計の審査は、新型コロナウイルス感染症対応に伴い、審査日を6日間から3日間に短縮し、質疑時間も大幅に短縮しておこなわれました。

質疑は延べ33人の委員がおこないい、各会計共通し、今後の事業運営のあり方、人口減少への対応、事業改善などについて、活発な質疑が交わられました。

市立病院会計では、世界的に拡大し懸念されている新型コロナウイルス感染症への態勢についての質疑もおこなわれました。

予算案に対し、後期高齢者医療会計は賛成多数で原案が可決し、それ以外（国保、介護、水道、下水道、市立病院、市場）は、全会一致で原案が可決されました。



議会を振り返って

緊急事態の中での

定例会を振り返って

議長 金澤 俊

市民の皆さま、それぞれに新年度をお迎えになりましたこと、心からお慶び申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市民生活や企業活動に大きな影響が生じており、市民の皆さまには心からのお見舞いを申し上げます。

先般の第6回苫小牧市議会定例会において、初日に岩倉市長から市政方針、五十嵐教育長から教育行政執行方針が示され、その数日後に、苫小牧市内での新型コロナウイルスの感染者発生が確認されました。

我々としては市民の安全安心を第一に考え、感染拡大の抑制と対応に追われる市職員に対し最大限の協力をするという趣旨から、緊急の代表者会議を開き、会期と審議項目などの見直しをおこないました。

結果、会期を7日間短縮し、代表質問及び新年度予算委員会の質疑時間も大幅に短縮しての実施



となりました。

また、各員会は継続審査へ、議会議案検討会も閉会中の開催と変更し、傍聴者の制限や議場内でのマスク着用と消毒液による手の消毒の励行もおこないました。

おかげさまで、無事に新年度予算を可決し市民生活への影響を最小限に食い止めることができました。

また、議会休会中の4月23日には、大きな影響を受けている企業や市民への支援策や感染拡大防止策を盛り込み、苫小牧市議会として岩倉市長にコロナウイルス関連の諸対策について申し入れをおこないました。

今後も市民の皆さんに寄り添い、事態の収束に向け議員、事務局が一致団結して取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願います。

議会改革の

取り組みを振り返って

副議長 藤田 広美

市民に開かれた議会を目指し、福祉の向上および市政の発展に寄与するため、苫小牧市議会基本条例を平成31年4月に施行しました。

その後の7月には条例の議員研修会を開催しました。また、この条例に盛り込まれた全員協議会を11月に開催し、議員定数について議員間討議を実施しており、定数は今後の議会改革検討会で結論を出してまいります。

議会改革は「できることは速やかに」おこなうことが大事」との思いから、市議会を身近に感じてもらえる機会として始めた議場コンサートは、令和2年2月で5回目の開催となり、皆さまから好評を得ています。さらに、定例会を傍聴された方に、とまこま市議員の付与を始めたことに加え、議場内においても議員や市側、傍聴者の水分補給を可能にしました。

このほか、定例会終了後の正副議長記者会見を開始したことや、傍聴者へのアンケートを実施し、



その結果を市議会ホームページで紹介するなど、市民への情報発信にも取り組んでいます。

議員力向上に向けては、地域福祉の現状を知るため、社会福祉協会の勉強会を企画・開催しました。今後も勉強会や意見交換の場を設けていきたいと思えます。

一方、ICT化の推進では、ペーパーレス化をはじめ、速やかな情報伝達と情報共有化など効果が大きいことから、タブレットの導入を前提に実務者会議を設置して議論を続けています。またタブレットを活用したデモンストレーションもおこない早期に本格導入を目指してまいります。

これからも議会の機能強化と、市民に開かれた議会を目指して改革をさらに推進してまいります。

ペーパーレス議会システムのデモンストレーションの開催(2月12日)

議会改革検討会の中で検討が進められている議会ICT化の目玉であるタブレット端末を活用したペーパーレス議会システムのデモンストレーションを開催しました。

他市の議会においても実際に利用されているシステムデモ画面を議員が直接操作し、資料の検索方法や手書きメモなど、使いやすさまざまな機能について学習しました。

市議会としては、ペーパーレス化による紙の使用量の抑制、災害時の迅速な情報連携および安否確認などの効果も考え、ルールも含めた、検討を進めてまいります。



苫小牧市社会福祉協議会に関する学習会の開催(2月7日)

今、各地域では隣近所の関係希薄化や町内会活動の担い手不足など、多くの課題を抱えている現状にあります。今後の苫小牧市における地域福祉推進に向けて、社会福祉協議会の取り組みに対する理解を深めるため学習会を開催しました。内容は、地域福祉と社会福祉協議会の地域支援として、①コミュニティソーシャルワーカーの活動、②成年後見と日常生活自立支援事業について説明を受け、議員からは、日常活動における疑問点など、活発な質疑がおこなわれました。



※社会福祉協議会は、現在の社会福祉法に基づき、営利を目的とせず、民間の社会福祉活動の推進を目的とした民間組織として設置されています。



木村 司 議員

★会派を代表し、人口減少、駅前
の再整備、市民ホール建設、統合
型リゾート構想など、市政の課題
について市長の市政方針にのっと
り代表質問をしました。「健康で
安全な都市環境のもと、世代や性
別に関わらず、豊かで明るく誰も
が住みやすい」とまこまい「を
目指し施策にチャレンジしていく
との考えが示されました。

緑

矢嶋 翼・木村 司・金澤 俊・竹田 秀泰
宇多 春美・板谷 良久・喜多 新二・山谷 芳則

新

★「苦小牧市行政刷新プラン」は、
行政改革の新たな概念として「す
でにあるもの」の改善や効率化だ
けではなく「まだないもの」を発
想し、創り上げていくイノベーシ
ョンを意識して取り組んでいき
たとの答弁がありました。



矢嶋 翼 議員

待ち望んでおり、一日も早い着手
を求めました。市としても「苦小
牧の顔」として取り戻すためにも
権利集約に取り組み一日も早い解
決に向けて糸口を探っていきたく
との答弁がありました。
★予算委員会では、市民ホールの
PFI導入について、事業者の地
元活用に対してできるだけの配慮
を要望しました。また、その建物
自体がデザインも含め、世界から
人を呼び込めるような、市民が誇
れるような市民ホールの建設を要
望しました。

★旧サンプラザビルについて、市
長と地権者のトップ会談・公費で
のビル解体の可能性を質疑し、ト
ップ会談は解決策の一つであり得
ること、公費解体は多額の税金を
投入することになり、市民の理解
を得にくいと答弁がありました。
★市立病院の災害時における救急
医療体制について質疑し、当院は
災害拠点病院の指定を受け多発外
傷、広範囲熱傷などの災害時に多

に障がいに対する理解をしてもら
い、雇用に結びつくよう事業者・
企業で情報共有することを求め、
さらにその場に当事者家族も参加
し情報交換し、障がい者雇用の環
境が充実することを求めました。
★児童虐待防止条例制定に当たり、
これからも市民参加型の啓発活動
を実施することを求めました。
★受動喫煙防止条例が施行される
に当たり、受動喫煙の多い飲食店
を対象に「空気もおいしい施設」
の周知啓発を求めました。



喜多新二 議員

★市立病院は第二種感染症指定病
院であるが、マスクや防護服など
の備蓄品について国や道からの具
体的なガイドラインが存在してい
ないことを確認し、今回の新型コロナ
ウイルス感染症を受け、減額計
上されている材料費を補正予算で
の増額と独自の感染症対策装備の
備蓄計画の策定を要望しました。
★令和元年度から開始された糖尿
病性腎症重症化予防事業について
の現在までの進捗状況を確認。医



山谷芳則 議員

療機関との周知連携強化と長期間
の事業継続を要望しました。
★雨水管整備事業についての進捗
状況と雨水管径の算出根拠の確認、
また浸水被害軽減のための体制と
対応について確認しました。

★大学卒業後の市内就職と居住を
条件にした本市の教育ローン助成
制度について、道外または市内の
大学の学生に限定したことが当初
の利用見込みを下回っていること分
析し、道内大学の学生も利用でき
るよう拡大し、本市への就職を促
すことを提案し、協力を得ている
金融機関とも協議して条件拡充を
検討すると答弁がありました。
★ALTの増員について、8名の
増員により各中学校エリアに1名
配置することが可能となり、ALT
を活用した授業増、また幼稚園
の要請に応じてALTを派遣し、
幼少期から英語に親しむ機会を増
やし、生涯学習の場でも英語に親
しむ機会を整備していくと答弁が
ありました。

会派市民

桜井 忠・谷川 芳一



桜井 忠 議員



谷川芳一 議員

代表質問

1. IR誘致について

- 2. 企業対策
- 3. 地方創生推進
- 4. 市立病院
- 5. 教育行政

予算委員会質問(抜粋)

- 国際リゾート推進事業
- 災害対策費IIコナ対策
- 新千歳空港事業負担金
- ふるさと納税
- アイヌ文化伝承事業
- 予防接種事業
- 環状交差点の採用
- 市営住宅建て替え事業



竹田秀泰 議員

発する重篤救急患者の救急医療を
おこない、簡易ベッドも50台の備
蓄があると答弁がありました。
★市場を通さない市場外流通増対
策では、卸売市場法改正で大幅な
規制緩和による競争で市場の活性
化につながると答弁がありました。

★市立病院の患者向け無線LAN
整備を要望し、令和2年度中に導
入すると答弁がありました。
★公設地方卸売市場について、青
果・水産は令和3年から指定管理
者制度導入、花きは令和4年から
民間移譲を計画通りおこなうと答
弁がありました。
★高丘浄水場管理棟改築工事で完
成後の施設内見学で体験学習(模
擬沈殿実験・水道管を利用した万
華鏡作りなど)を要望し、検討を
すると答弁がありました。
★上下水道部で作成中の浸水シミ
ュレーションの市民活用を質疑し、
「市街地での浸水想定図」を令和
3年度までに市民向けに公表する
と答弁がありました。



板谷良久 議員

★新型コロナウイルス感染症対策
に対応する市職員の拘束時間をで
きる限り少なくすることを目的と
して、今定例会は期間を短縮して
開催することを、議会運営委員会
で取り決めました。苦小牧駅前プ
ラザエガオの訴訟に関する議案や、
令和2年度の予算審議など、重要
な案件の多い議会ではありまし
たが、要点をまとめ、必要最小限の
質問とすることを議員各自が努力
した結果、無事予定通り議会を終
えることができました。



宇多春美 議員

★ひきこもり支援に対して、人と
関わることが苦手、社会に生きづ
らさを抱えている方々に月に一回
「楽しく、安心して過ごせる場所
」の茶話会を開催、関係機関との
連携で就労にも結びつくなどの支
援があり、これからも当事者やご
家族に寄り添う支援を求めました。
★障がい者雇用については、企業

一般会計予算採決

共産党が国際リゾートの質疑で
「予算決定前に業者が決まってい
る、値引きも800万円と大きき
ざる」と質疑し、市長や担当者の
答弁にブレがあり否定されなかつ
たため国際リゾートの予算を省い
た修正動議を提出しました。
我が会派は質疑時間が制限され
十分な回答がなされていないかも
しれないが、市政であってはなら
ないことなので動議には賛成。た
だ賛成少数で否決される見込みで
したので、「よりマシな案として
」市長提出議案にその後賛成をす
ることを理事会で伝えました。
委員会では修正動議に賛成の討
論をしたが否決され、次の市長提
出議案に賛成討論をした上で賛成
をしようとしたが、いきなり採決
をしたため、手を上げられませ
んでした。
本会議は委員会の決定を引きず
った形となり、退席し賛否を表さ
ないという態度表明になりました。

民主クラブ

松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司
橋本 智子・小山 征三

★代表質問では、市長の市政方針を受けて、これまでの会派からの質問に対する議論経過を踏まえ、特に人口減少時代を迎える中で、さまざまな施策にどう取り組んでいくのか、主要なテーマについて市長の見解を求めました。

★旧サンプラザビルの問題や国際リゾート構想など、説明過程においても市民が置きざりになっていると指摘し、丁寧な市民説明を進めることを求めました。

★駅前周辺の活性化と今後の方向性について、市が率先して写真真を示すべきと求めました。

★1R誘致を断念した場合の税收対策、経済活力をどう導きだすの

か見解を求めました。

★新型コロナウイルスの情報発信など対応を求めました。

一般会計予算審査特別委員会
佐々木修司議員

★苦小牧国際リゾート構想推進事業費について質疑し、市側は、来道するインバウンドなどを市街地エリアに呼び込むために国際交流拠点構想実施計画（仮称）を策定する事業であるとの考えを示しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより今後のインバウンドの動向や世界経済の動向が不透明であることから、まずはその状況を見極める必要があるのではないかと求めました。

市側は、定量的ではなく定性的な街づくりの観点から一刻も早い取り組みが重要であるとの認識を示しました。

橋本 智子議員

★民族共生象徴空間ウポポイ開設額について、単年度だけではなく今後の継続を要望しました。

★「児童虐待防止条例」制定について、市民にわかりやすく周知し、虐待防止と通報につながる取り組みをすることを要望しました。

★中央図書館の蔵書整備計画について、蔵書購入費に比べ収蔵資料数の増加が少ないのは収蔵スペースが少なく除籍廃棄が多いのではなにかと質疑しました。収蔵スペースの増加は望めないという答弁でしたが、今後の課題であることを指摘しました。

岩田 薫議員

★国民健康保険事業会計の特定健康診査は、受診率が上がらないことが問題視されており、その対策として、これまでの受診勧奨のほかに、同業同種の集まりを通じて健康診査の受診に結び付けるよう提案しました。

★市立病院会計では、新型コロナウイルスに対し、市立病院が国の感染症指定医療機関であることから、感染症もしくは疑いのある患者を完全分離しているとし、また

未就学児交通安全対策事業費の質疑では、防護柵を延長451m、路面標示やカラー舗装14力所、警戒標識5力所を8月上旬まで設置予定と答弁がありました。キッズゾーンの設定も求めました。国保の人間ドックはタダと健康診のオプションとして統合し、5、500円の費用でGOGO健診を実施すると答弁がありました。さらに、介護保険の生活支援サービス事業の拡大も求めました。

大西厚子議員

市立病院でのがんサロンの常設について質疑、令和2年6月下旬を予定に専従の職員を配置して始まること、愛称を「はなしょうぶハウス」とすることが決まりました。会派の先輩達が6年以上前から提案し続けたことです。さまざまな相談を受けたり、展示をしたりなどをします。市民の皆さまの代弁との思いで質疑しました。

大野正和議員

学校などの休業に伴い、看護師など医療従事者への影響について、院内保育園を継続するとともに過度な時間を避けることなどで対応すると答弁があり、市立病院一丸となりこの非常事態を乗り切ることを要望しました。

小山 征三議員

《監査委員の役割》
新型コロナウイルス感染拡大による経済への打撃、市民生活への影響は深刻さを増しています。今定例会での予算に関する質疑は、すでに終了しましたが、今、最優先すべきは新型コロナウイルス対策で、臨機応変に対応していくべきです。今後は税収見込額などが予想以上に減ることも想定し、緊急性を要しない予算の一時凍結も考えなければなりません。財務や事業が合理的、効率的、経済的に執行されているか、監査委員として引き続きしっかりチェックしてまいります。

大野正和議員

公明党議員団

池田 謙次・神山哲太郎・大西 厚子
藤田 広美・大野 正和

【代表質問（抜粋）】
新型コロナウイルスへの備えについて、市民への正しい情報の周知と目や耳の不自由な方の対応についてPCR検査の早期対応を求め、相談先や日常生活の注意点などをホームページ掲載と、チラシ作成をすると答弁がありました。

広告収入やネーミングライツの拡大について、新とぎわスケートセンターなど7施設は随時募集中で、総合体育館については老朽化対応後に導入予定。また、東西の大規模な公園も導入に向けて検討していますと答弁がありました。

ぼい捨て防止条例の罰則規定を設けることについて、ポイ捨てが減っていない札幌や釧路でも罰則規定があります。市内の美観を守るために必要と質問し、平成10年から同条例を施行し平成28年に一度罰則について検討したが、今後についても取り締まりに課題があり、市民のマナーやモラル醸成に力を入れるとの答弁がありました。

防災行政無線のデジタル化と防災各計画などの見直しについて、戸別受信機の導入は町内会や学校防災関係機関、避難行動要支援者について無償配布とし、一般市民は購入となる予定で、災害時備蓄計画・避難所運営マニュアルや実務レベルの計画・マニュアルは、今年度中に見直すとの答弁がありました。

子宮頸がんワクチンについて、接種のためではなく、正しい情報の個別通知によって伝え、家族で話し合いの機会と選択する環境づくりをするのが行政の役割ではと質問し、ワクチン接種によるメリット・デメリットをどのように伝えられるか関係機関と情報提供のあり方について検討したいと答弁がありました。

外国語教育の推進について、新年度より外国語指導助手を14名増員し、中学校区に常時配置し、生徒と日常的にコミュニケーションをとる機会の増加とまちなかの施設での英語カフェの開催などを実施し、英語の楽しさを伝えていくと答弁がありました。

この度の新型コロナウイルスの感染防止などを図るため、代表者会議や議会運営委員会での対応を協議し、さまざまと急を要する対応となった市議会定例会でありました。

議会改革やICTの推進についても6月に向けて引き続き議論を進めてまいります。市民の皆さまのご意見を伺い、安全・安心のまちづくりに取り組んでまいります。

池田謙次議員

一般会計に所属し、今回の新型コロナウイルスや異常気象による災害情報でデマやフェイクニュースに惑わされないように、早急に「公式アカウントアプリ」の導入を提案、一年以上前倒しで導入・配信されることになりました。ぜひ登録いただきたいと思えます。

スマホ依存症の対策を訴え、子供たちと共に、保護者の皆さんのご協力のもと何らかのルールづくりを提案させていただきました。

藤田広美議員

大西厚子議員

大野正和議員



神山哲太郎 議員



池田謙次 議員



大西厚子 議員

改革フォーラム



上段：越川議員・松井議員
下段：牧田議員・首藤議員

新年度のまちづくりに対し、会派から提出した政策・予算要望の提案内容や過去の一般質問などの議論を踏まえ、代表質問をおこないました。



松井議員



代表質問動画

【新型コロナウイルス対策】日々変化している事態の認識を質問した上で、政府の春休みまでの学校休業要請への対応、中小・小規模事業所などへの影響と対応策、情報提供のあり方、ウイルス検査の体制強化、ワンストップ相談窓口の設置、保健所へのリエゾン（連絡員）派遣と市からのマンパワーの支援について求めました。

【苦小牧市総合戦略】5年間の第1期計画が令和2年3月で終了することから、目標値の達成率を質問した上で、新年度からの計画に「関係人口の創出」「テレワーク

の推進」「ワーケーション」「外国人労働者の確保」など新しい概念を盛り込むことを求めました。【国際リゾート構想】新年度予算に「IRの関連費計上」と報道されていることに対する市長の考えを質問した上で、本旨に沿った丁寧な発信をするべきと求めました。【苦小牧市行政刷新プラン】取り組み項目のSDGsの関連づけ、AI、RPAの活用による市民サービス向上の取り組みを質問した上で、「電子申請」の取り組みを追加項目とすることを求めました。【O53大作戦ステージ5】平成28年から取り組んでいる戸別収集のモデル事業の対費用効果を疑問視し、早急に見直すことを進言しました。

【スポーツ施設の整備】総合体育館の改修の考え方に、PFI導入の可能性を探り、緑ヶ丘公園を中心に移転改築の検討を進めることの答弁がありました。【特別支援教育】明德小学校跡地に令和3年開校予定の特別支援学校へ肢体不自由児・生徒が就学できるよう道教委との協議を進める

よう求めました。



首藤議員

【下水道築造】市内に約1500kmある下水道

管のうち、耐用年数50年を超過するものが約99kmあり、20年後には約834kmになる現状です。将来の税収減を想定し、効率よく事業を進める必要性と将来を担う子供たちに負担をかけない使用料金のあり方を質疑し「効率的な改築更新や歳出の抑制を図り、将来の建設改良工事について議論をおこない、それに備え、水道料金の検討会で料金水準の議論を進めていく」との答弁がありました。



牧田議員

【市立病院事業資金不足】新改

革プラン・ローリング版の資金不足比率（15.9%令和元年度見込み）の高さを指摘し「医療機器更新入替に必要な企業債の借入に資金不足解消計画の策定・提出が必要で環境が厳

しくなる。医師を確保し経営健全化に向けてさまざまな方策を検討したい」との答弁がありました。【マイナポイント】国が令和2年9月から実施するマイナポイント事業を質疑し「手続き支援や制度周知をおこなうほか、本庁、のぞみコミセン、沼ノ端交流センターにマイナンバーカード申請窓口を設置する」との答弁がありました。



越川議員

【市街地への交流人口取り込み】今後の魅力あ

るまちづくりのひとつとしてウォーターフロント開発を提案し「物流を中心に発展した本市ですが時代の変革とともに海辺に対する考え方も変わってきました。ウォーターフロントを含め魅力的なまちづくりにつなげたい」との答弁がありました。

【JR利用促進対策】高齢化社会の進展に伴い苦小牧駅にエスカレーターを設置を提案し「現時点で設置する考えがない」との答弁がありました。



小野寺幸恵議員

●国際リゾート構想推進事業

1、500万円の国際リゾート構想推進事業費が、随意契約（入札などをせず決定した相手と契約すること）として提案されていることを質疑しました。随意契約は、合理的な理由が必要ですが、市が説明する事業者の評価は「本市の知見が十分ある」「本市の構想に理解を示してくれている」などというもので、「合理的な理由に当たらない」と指摘しました。また、1、500万円の中身は、すでに約800万円を値引きしてもらった価格のため、「本来、プ



原啓司議員

●IR北米視察について

国際リゾート構想推進事業に関して、2016年のIR推進協議会による北米視察について質疑しました。市職員が随行したこの視察には、カジノ事業者が提供したプライベートジェットで移動しているが、「この費用はどこが負担したか」と質疑しましたが、明確な答弁が無かったため、早急の調査と報告を求めました。報告では、協議会、市ともに、この費用を負担していないことがわかりました。報告を受けておこなわれた総括質疑では、「先方の都合で行程が変更になり、事業者から提供されたプライベートジェットで移動した。公務として随行した市の職員がほかの参加者と違う移動手段を取ることは合理的ではなく、問題はない」と答弁され、これに対し「限りなくブレイであり、道義的にも市民感情的にも認められない」と指摘しました。



富岡隆議員

●後期高齢者医療特別会計

保険料の改定により、均等割軽減が廃止されることから市民への影響について質疑しました。担当部局は、「被保険者の47%を超える9、898人が負担増になる。保険料も、2倍、3倍となり影響額は4、400万円を超える負担増になる」と答弁しました。これにより保険料は、一人当たり94、600円となり、生存権すら守れない状況になっています。また、道や国に対し制度の撤回を求めたことに対して副市長は、「全国市長会、全国知事会から国に対し、医療保険制度の一本化に向け要望している」と答えました。

●介護保険事業特別会計

地域包括支援センターの中でケアマネージャーが不足している問題をとり上げ、市が中心となって職員を増やし、担当窓口を設置するなど直ちに支援することを強く求めました。

日本共産党市議団

小野寺幸恵・原啓司・富岡隆

そのうえで、国際リゾート構想推進事業費を抜いた修正予算（修正動議）を提案しましたが、賛成少数で否決しました。

無所属

議員 高秀 触沢

今後の議会、議員活動におきまして、苦小牧市民の皆さまの安全安心に寄与できるように努めて参ります。

無所属議員（1人の代表質問はできない）というルールがあり、今定例会では質問の機会はありませんでした。新型コロナウイルスによる影響で会期が大幅に短縮されました。市民の皆さまが健康で早い終息を願います。

私は、NHK訪問員の被害から市民の皆様を守り、という議員であります。この時期、進学や就職等の引越し先でNHK訪問員がやってきます。特に進学で一人暮らしをされる学生のトラブルが非常に多いです。NHKを見ないのであれば契約する必要はないと考えています。

日々、NHK訪問員のトラブルに対して市民の皆さまのお困り事に対応しております。

第5回議場コンサートについて教えて!



第5回議場コンサートは、とまこまい観光大使でもある歌手の門田しほりさんをお迎えし、2月20日市役所11階の本会議場で第6回定例会の初日の昼休憩12時15分から開催

し、約200名の市民が鑑賞に訪れました。

今回は、門田しほりさんのオリジナル曲「愛のことば」をはじめ、カバー曲「やさしさに包まれたなら」など全5

曲をご披露いただきました。

門田さんの透き通るような歌声が議場を包み込み、来場した市民から盛大な拍手と賞賛の声をいただきました。



《プロフィール》

門田しほりさん

- ・24時間TV苫小牧リポーター
- ・ミュージカル赤毛のアン出演
- ・THEカラオケ★バトル全国統一！最強うま王決定戦準優勝(2年連続)
- ・2018年とまこまい観光大使就任



議場コンサートをおこなっているの?

市民の皆さんに、議会をより身近に感じていただけるように、開かれた議会を目指し、市議会主催で平成28年度から毎年おこなっています。



第1回 ソプラノ独唱
金井隆子さん (H28.9.8)



第2回 マリンバ演奏
山田沙紀さん (H29.2.24)



第3回 江差追分
石垣 博さん (H30.2.23)



第4回 アイヌ古式舞踊
苫小牧アイヌ文化保存会のみなさん (H31.2.22)



どんな内容だったの?

多くの市民の皆さんに来てほしいね!次が楽しみ!

議会日程のお知らせ

● 第7回市議会定例会

月日	内容	
6月10日(水)	陳情締切り (17:00 まで)	
6月11日(木)	本会議	報告・一般質問
6月12日(金)~16日(火)	本会議	一般質問・議案等審議
6月17日(水)	常任委員会	
6月18日(木)	特別委員会	
6月19日(金)	議会改革検討会	
	本会議	議案等審議

※6月11日から18日の開始時間は10時(予定)からになります。(ただし19日は未定です)
※日程などについては変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会)
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

議会だより編集委員会メンバーも、読みやすくわかりやすい紙面作りに奔走した1年だったと思います。市民に伝えたい情報がたくさんある中で、紙面構成上どうしても掲載できない記事もあり、紙面作りの難しさを痛感しています。昨年はフリートークを開催し、紙面作りのアドバイスをいただき、試行錯誤しながら作成を続けています。令和2年度も新しいことにチャレンジしながら、多くの市民に読んでいただける議会だよりを目指し努力してまいります。

とまこまい市議会だより
編集委員 越川 慶

とまこまい市議会だより編集委員会

板谷 良久・山谷 芳則・大西 厚子・大野 正和・橋本 智子
越川 慶一・原 啓司・桜井 忠・触沢 高秀